

外国語科

領域別の目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと 「やり取り」	ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。 イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。
話すこと 「発表」	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。

内容のまとまりごとの評価規準例

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ったり、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現を聞いたりすることに慣れ親しんでいる。また、文字の読み方が発音されるのを聞くことに慣れ親しんでいる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取ったり、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かったりしている。また、文字の読み方が発音されるのを聞いて、どの文字であるかが分かっている。	言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語で話されることを聞こうとしている。
話すこと 「やり取り」	挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりすることに慣れ親しんでいる。また、自分のことや身の回りの物について、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、質問をしたり質問に答えたりすることに慣れ親しんでいる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりしている。また、自分のことや身の回りの物について、自分の考えや気持ちなどを伝え合ったり、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、質問をしたり質問に答えたりしている。	言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて伝え合おうとしている。

話すこと・発表	身の回りの物や自分のことについてや、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話すことに慣れ親しんでいる。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身の回りの物や自分のことについてや、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを話している。	言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いて話そうとしている。
---------	---	--	--

外国語・外国語活動の目標

	第 3, 4 学年 【外国語活動】	第 5, 6 学年 【外国語】
目標	。外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指す	外国語によるコミュニケーションにおける見方、考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成することを目指す・
知識・技能	外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気づくとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする	外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気づき、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、各音による実際のコミュニケーションにおいて勝代字できる基礎的な技能を身に着けるようにする。
思考・判断・表現力	身近で簡単な事柄について外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分ン位慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝えあうことができる基礎的な力を養う。
学びに向かう力・人間性等	外国語を通して、言語野その背景にある文化に対する理解を深め、相手の配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他社に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

5つの領域別の目標

	第3, 4学年（外国語活動）	第5, 6学年（外国語）
聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかがわかるようにする。	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。 イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な乗法を聞き取ることができるようにする。 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。
読むこと		ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。
話すこと 【やり取り】	ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な支持をしたり、それらに応じたりするようにする。 イ 自分のことや身の回りのものについて、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	ア 基本的な表現を用いて支持、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
話すこと 【発表】	ア 身の回りのものについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理したうえで、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理したうえで、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
書くこと		ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 イ 自分のことや身近かで簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

